

令和5年度 地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	社会福祉法人厚生館福祉会
-----	--------------

取組の名称	こども食堂事業運営・学童ホール事業運営
実施場所	こども食堂：王禅寺しらゆり保育園 2階多目的ホール 学童ホール：愛児園学童ホール
対象地域	川崎市立東柿生小学校および王禅寺中央小学校在籍の児童 川崎市立菅小学校および近隣小学校在籍の児童
対象地域の 特色・課題	こども食堂：丁寧な見守りや支援が必要な家庭、児童も いるため、地域の中で、児童の生活や学習 について、家庭や学校、行政以外にも見守 れる場所や子どもにとっての居場所づくり が必要であると感じる。 学童ホール：保護者の就労などによる留守家庭児が多く、 また、近隣に法人内に保育所を6施設運営 しているため連携ができ、児童・保護者共 に慣れ親しんだ場所での保育ができる。
取組の趣旨・目 的	こども食堂：児童に学習支援と食事の提供を行い、生活 の安心・向上を目指す。 学童ホール：保護者の就労などによる留守家庭児に遊び 及び生活の場を提供し、児童の健全な育成 を図ることを目的とする。
実施内容・実施 スケジュール	こども食堂：月2回、土曜日の10時～12時に実施。 10時から学習の時間とし、指導員が少人 数ごと丁寧に児童の学習を見ていく。 適度に休憩時間や遊びの時間を設け、その 中で児童同士の交流などが図れるように配 慮していく。

	<p>11時30分～参加児童と指導員全員で食事をする。</p> <p>※食事は保育園の栄養士が調理し提供しているため、栄養バランスが取れた食事を児童が食べられるとともに、安全・衛生管理も徹底している。</p> <p>※今年度は感染予防対策のため、食事提供は中止し、学習支援のみ実施した。</p> <p>学童ホール：①子どもたちが楽しく、安心して過ごせるような環境をつくる。</p> <p>②異年齢の集団の中で、子ども同士の関りを大切にし、成長を見守りながら必要に応じて適切な援助、指導をしていく。</p> <p>③問題が起きた場合には子どもたちの気持ちを大切に、ご家族と連携を図りながら一人ひとり対応していきます。</p> <p>④遊びや当番活動を通じて生活習慣を身につける。</p> <p>⑤自立性や協調性を育てながら、仲間作りや集団生活の楽しさを養う。</p> <p>⑥地域との関わりを積極的に行い、地域に開かれた学童としての運営活動を行う。 地域の町内会やこども会の行事に参加（夏まつり、秋まつり、もちつき、フリーマーケット等）し、地域との交流を行っている。</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>小学1年生～6年生の児童</p>	<p>定員(1回あたり)</p>	<p>こども食堂：20名 学童ホール：86名</p>
<p>実施頻度</p>	<p>こども食堂：月に2回 (4・5・8・9・10・11・12・1月は月1回、6・7・2・3月は月2回実施) 学童：平日13:00～18:00 短縮授業日・長期休暇・臨時休校日など 8:00～18:00</p>	<p>活動日数(年間)</p>	<p>こども食堂：16日 学童ホール：241日</p>

	延長保育 18 : 00 ～18 : 50		
スタッフ体制	こども食堂・学童ホール：教員免許や小学校での教員経験者、福祉系の学科を学ぶ大学生が契約しており、1回につき平均4～5名の指導員が出勤し、児童の指導、支援にあたっている。		
連携する団体・ 連携の手法	<p>こども食堂：王禅寺しらゆり保育園の施設長が窓口となり、登録手続きなどを行っている。</p> <p>川崎市立東柿生小学校と連携。案内を配布し、活動内容を知らせたり参加の声掛け等をしてもらっている。また、卒園児にも声を掛け、東柿生小学校の児童以外も受け入れている。</p> <p>地域の主任児童委員に実施内容を見学して頂き、実施への理解と、地域への広報を担ってもらっている。</p> <p>学童ホール：近隣に法人が運営する保育所が6施設あり、卒園児の連携を取ることができる。</p> <p>入学直後の1年生については、小学校との連携を取り、スタッフが小学校まで迎えに行き、学童施設まで引率する期間を設けている。</p>		
取組実施により 見込まれた効果	<p>こども食堂：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の習慣が付くとともに、しっかり見守ってもらえ、分からないことはすぐ教えてもらえたり、褒めてもらえる経験が子どもたちにとって喜びと自身につながる。 ・この活動が子どもたちの拠り所となったり、地域の子どもたちのより良い生活、育ちの支援や見守りが出来る。 <p>学童ホール： 児童の健全な育成を図ることを目的とすることで、子どもたちが安心して、楽しく過ごすことが出来る居場所をつくる。また、異年齢児との関わりを通して子どもの成長を見守る。</p> <p>また、地域の行事などへ積極的に参加することで、地域の方々とのつながりを深めて、お互いに見守り合う関係作りに貢献している。</p>		

常勤スタッフは4名が元小学校教諭、他2名、大学生アルバイトは4～5名程度がシフトにより勤務している。保育士資格を取得し、卒業後に法人内の保育所への正職員での入職実績が5名。また、元小学校教諭スタッフにおいては経験豊富であることから保護者からの相談も多く、保護者からの信頼や満足度が高い。夏休み等の長期休暇期間には、朝からの受入れ態勢を整えて、近隣の公園、市営プールや市営の図書館などへ出かけて行き、体験の場や知識を広める経験をした。地域へ積極的に出かける体験から、地域の子どもとの交流を図ることもできた。

愛児園学童ホール・こども食堂の両事業を共通して、こどもの成長を感じることができ、こどもが施設へ来ることを楽しんでくれることが、職員のモチベーションを高め、事業に対するやりがいにつながっている。